

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	スーパー（企画担当）	単価の動き	・ゴールデンウィーク以降、来客数は微増であるが徐々に回復しており、客単価も徐々に上昇している。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年同期と比較して来客数が増加している。
	○	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの2月の販売室数が、県内の緊急事態宣言を受けて休業していた期間もあり前年比94%減なのに対し、5月の販売室数は、国の緊急事態宣言を受けて休業していた前年同月の0室から1498室に増加している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・県予算で県内向けの観光キャンペーンをやっても、ごく一部にしか恩恵がないし、まん延防止等重点措置からの緊急事態宣言でどうしようもない。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	それ以外	・以前に建築受注した手持ち工事があり、当面の工事高は維持できている。
	□	住宅販売会社（役員）	販売量の動き	・賃貸住宅の建築減少が影響し、賃貸あっせんの売上が弱含みである。
	▲	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの動員を期待したが、まん延防止等重点措置期間中で集客にややブレーキが掛かり、下旬から緊急事態宣言発出で更に集客が悪化し、計画値に対してマイナス20%となっている。
	▲	スーパー（販売企画）	販売量の動き	・沖縄県が緊急事態宣言の対象に指定されてから、自粛による家庭内調理需要で少し回復しているが、それ以前の買上点数減少の影響がまだ大きく、今月は売上を厳しくしている。
	▲	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・5月前半はゴールデンウィークの影響もあり販売も好調だったが、後半に入り緊急事態宣言発出後は予約のキャンセルも目立ち、来客数が減少傾向にある。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で商店街自体も、各店も大変危機的な状況である。客も少なくなっており、大変苦戦をしている。
	×	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者の急増で外出ができなくなり、観光や飲食ができない。飲食以外の関連業者には支援金がない。廃業する店も出ている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前は通常の営業体制に戻る可能性があったが、まん延防止等重点措置が4月より開始され、今月には新型コロナウイルス感染者数が増加、緊急事態宣言へ発展したことにより時間短縮、休業要請などの対応で来店客が激減している。
	×	コンビニ（副店長）	来客数の動き	・予測どおりゴールデンウィーク明けから来客数の減少が始まり、梅雨の時期も重なった、また日々の感染者数の増加による来月20日までの緊急事態宣言の発出を受け、大変厳しい状況が続いている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・月初めの連休は回復傾向にあったが、ゴールデンウィークが終わり、新型コロナウイルス感染者も増え緊急事態宣言になってからは観光客も少なくなり、県民も余り出歩かなくなった。それと比例するように来客数も減り、店頭での売上也落ちてきている。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の記録更新、緊急事態宣言で酒類提供の禁止となり、夜の営業での入客が緊急事態宣言発出以降は全店入客なし、1～2組と地獄が続いている。ランチはそれなりに入っているが、500円ランチなので、黒字には程遠い。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され、宿泊予約のキャンセルが増えている。飲食も、昼間の会議では行われるところがあるが、夕方からの会議プラス宴会は、会議のみとなっている。
	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・秋の修学旅行の予約キャンセルが増えてきている。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・前年のゴールデンウィークに比べると明らかに売上が戻ってきている。梅雨入り後も晴れ間が多く、パーペキュ用材料の売上が好調である。

(伊弉)	○	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・前月から見積依頼が公共、民間工事共に若干増加傾向で、今月も前月並みの依頼件数がある。
	□	*	*	*
	▲	—	—	—
	×	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築の受注、契約がゼロになっている。
	×	会計事務所（所長）	それ以外	・緊急事態宣言の再発出により不景気が長期化しており、心理的な面を考えると景気回復には相当な期間を要すると危惧している。
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・県内外問わず、新規求人及び説明会の依頼がある。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼はあるものの、既存客からの依頼がほとんどで新規依頼が余りない状況である。
	□	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・通常案件が減少している。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・求人数は微増したが、企業の採用活動において大きな好転は感じられない。また5月下旬から来月6月下旬までは緊急事態宣言の影響による採用活動の鈍化、停止が予測される。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・3か月前と比べると、求人数に鈍さがみられる。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・業種にもよるが、前年より求人数等は回復しつつあった。ゴールデンウィークで観光関係は少し持ち直した感があったが、ここに来て緊急事態宣言で、再び景気の落ち込みの雰囲気がある。
×	—	—	—	